

歴史的風致形成建造物指定一覧

指定番号	建造物の名称	建造物の所在地	指定年月日
第 1 号	旧岡本家住宅 主屋(増築部分を除く)、米蔵、馬屋、石垣及び土塀、敷地(庭園、石造物、礎石を含む)	大津市坂本六丁目1930番地1	令和 4 年 3 月 25 日
第 2 号	桐畑家住宅 主屋、離れ、土蔵	大津市中央一丁目410番地	令和 6 年 10 月 1 日
第 3 号	北川家住宅 主屋、土蔵	大津市京町一丁目403番地	令和 6 年 10 月 1 日
第 4 号	川村家住宅 主屋	大津市中央一丁目102番地	令和 6 年 10 月 1 日

大津市歴史的風致形成建造物

指定番号	第 1 号
指定名称	旧岡本家住宅 主屋(増築部分を除く)、米蔵、馬屋、石垣及び土塀、敷地(庭園、石造物、礎石を含む)
指定年月日	令和4年3月25日
位置	大津市坂本六丁目1930番地1
写真	
解説	江戸時代、山門公人として延暦寺に仕えた旧岡本家の住宅。山門公人は得度を基本とするが、生活は民間人で、それぞれの家業を持ち、必要なときに延暦寺への年貢米の管理や各堂舎で行われる法会の準備などを行う人々。 南北に細長い敷地の中で南の道に面して門を開き、すこし奥まって主屋があり、北奥に米蔵と馬屋が並ぶ。主屋は、大小9室を設け、表側の3室を接客の間とし、一部には横井金谷の襖絵が描かれている。同家の過去帳と屋根裏から発見された祈禱札に元治元年(1864)の記があることから、主屋は江戸時代の末の建築になる。内部を塗籠という特異な仕上げの米蔵と、来訪者の馬を繋いだ馬屋、表門と合わせて、往時の公人の生活が伺える貴重な建物・家構えである。 未指定ではあるが、道に面した石垣や土塀、敷地内の庭園、石造物、礎石なども残り、現在は、公人屋敷として、公人の生活ぶりを伝える施設として内部が公開されている。

大津市歴史的風致形成建造物

指定番号	第2号
指定名称	桐畑家住宅 主屋、離れ、土蔵
指定年月日	令和6年10月1日
所在地	大津市中央一丁目410番地
写真	
解説	中央一丁目の浜(町)通りに北面する桐畑家住宅は、主屋、離れと土蔵が登録有形文化財である。主屋は、当家に明治37年(1904)の間取り図付きの申請書の控えが残されていることから、明治中期の建築と思われる。 木造2階建てで葺瓦葺で、外観は1階に出格子、2階は加敷造で半間ごとに社寺建築に見られる斗と肘木で装飾された特徴を持つが、昭和元年(1926)に行われた軒切りのあとにつけられたものである。

大津市歴史的風致形成建造物

指定番号	第3号
指定名称	北川家住宅 主屋、土蔵
指定年月日	令和6年10月1日
位置	大津市京町一丁目403番地
写真	
解説	京町一丁目の京町通り(東海道)に北面する北川家住宅は、主屋と土蔵が登録有形文化財である。主屋は、建物2軒分を合わせて構成されており、東3間分は江戸末期の建築で、明治20年(1887)ごろに西3間を増築したと伝えられ、明治期に撮影された写真が残る。 木造2階建て葺瓦葺で、昭和初期の軒切りで連続する虫籠窓であった2階は現在の緑青色の銅板巻きの虫籠窓とガラス戸に変えられ、1階は平格子や出格子が設けられた。

大津市歴史的風致形成建造物

指定番号	第4号
指定名称	川村家住宅 主屋
指定年月日	令和6年10月1日
位置	大津市中央一丁目102番地
写真	
解説	中央一丁目の電車道(八丁上がり)に西面する川村家住宅は、主屋が登録有形文化財である。当家に残る弊串より大正12年(1923)に建てられたことがわかっている。 木造2階建てで、瓦葺で、2階の外壁は白い鉄板で覆われているが、漆喰の大壁造で、上げ下げ窓がついているのが印象的である。